

経営比較分析表（令和5年度決算）

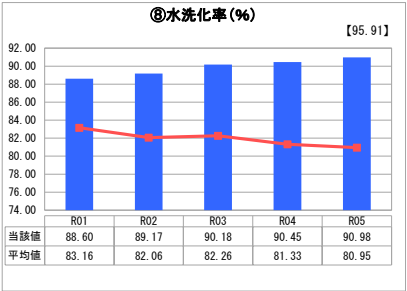
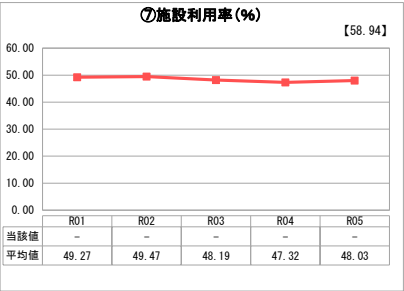
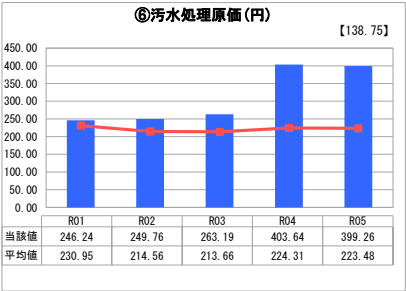
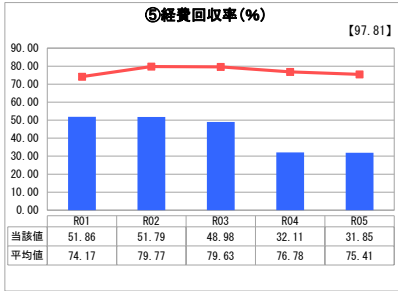
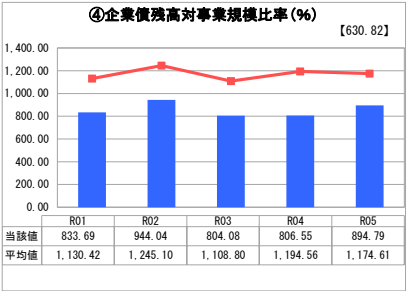
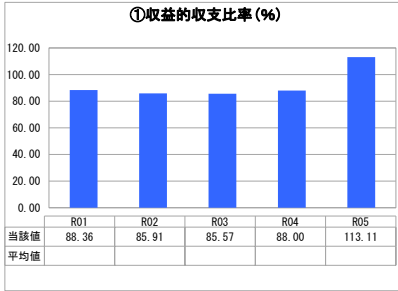
青森県 大戸町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cd2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	60.06	-	2,420

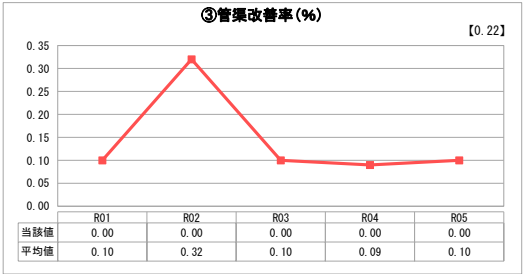
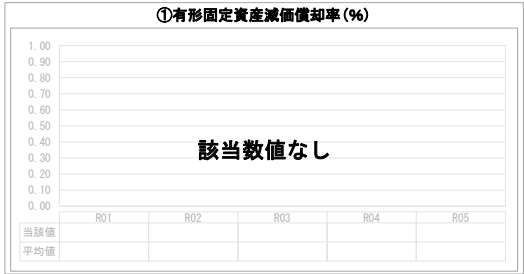
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
10,714	83.89	127.71
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
6,366	3.98	1,599.50

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益の収支比率は前年度と比較し、25.11%上昇しているが、要因としては次年度からの企業会計移行へ向けて、年度当初の資金とする為繰入金を多くしたことや、地方債償還金の減少が要因である。今後は、使用料改定の検討を図るとともに基金等の財源を積極的に活用していく。

④企業債残高対事業規模比率については、計画的に償還を進めており、今後も引き続き償還を進めて行く予定である。

⑤経費回収率については、前年度と比較し0.26%微減となっている。これは汚水処理費については電気代等の光熱水費の値上げにより経費が増加しているが、処理区域内人口が減少し使用料収入が減収したことが要因である。今後は使用料改定の検討を図っていく予定である。

⑥汚水処理減価については、前年度より4.38%減となっているが、この要因は有収水量が増加したことが要因である。

⑧水洗化率は、類似団体と比較して高い数値を示しており、引き続き周知啓発を進めていく。

2. 老朽化の状況について

・ストックマネジメント計画（平成30年度策定）に則り、防災・安全交付金などの交付金を活用しての更新事業を順次進めていく。

・供用開始が早い小松ヶ丘地区（昭和57年供用開始）のマンホール蓋交換工事を進めているが、ストックマネジメント計画に基づいて、交付金を活用しながら、進めていきたい。

・下水道管渠のカメラ調査等を積極的に進め管渠の更新を進めて行く予定である。

全体総括

供用開始が早い小松ヶ丘地区においては、既に約40年が経過しており今後10年程度で耐用年数に達する見込みである。このことから管渠やマンホールポンプの修繕等により維持管理費が増大傾向にある。上記の理由により、各種比率の悪化が目立ってきている。今後、使用料の適正化やストックマネジメント計画の基づく更新等を計画的に進め経営改善を図っていく。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。